

第1回上曾トンネル開通に伴う地域活性化委員会 会議録

【1】日 時：令和4年8月1日（月） 午後2時～午後3時22分

【2】場 所：桜川市役所 真壁庁舎 3310会議室

- 【3】会議次第：1 開 会
2 委員委嘱
3 市長あいさつ
4 上曾トンネルについて
5 設置要綱について
6 委員長及び副委員長の選出について
7 議 事
（1）基本構想及び基本計画について
（2）基本構想策定スケジュール（案）について
（3）ワークショップ（案）について
（4）検討エリアの設定について
（5）検討イメージについて
（6）その他
8 そ の 他
9 閉 会

【4】出席者

（1）委員

No.	職 名	氏 名
1	筑波大学システム情報系教授	藤川 昌樹
2	桜川市議会議員	谷田部 由則
3	千年の森の会 代表	櫻井 崇
4	ディスカバーまかべ 副会長	田中 宣寛
5	まかべ日和の会 代表	田中 良枝
6	桜川市区長会真壁支部 会長	常盤 恵一
7	桜川本物づくり委員会 代表	西岡 勇一郎
8	桜川市観光協会 会長	橋本 慶晴
9	真壁石材協同組合 理事長	林 清
10	桜川市商工会 会長	皆川 光吉
11	真壁のひなまつり実行委員会 委員長	村上 宏
12	まかべ♡街灯りプロジェクト 代表	村上 頼子

13	桜川市 副市長	小林 達徳
----	---------	-------

【5】欠席者

なし

【6】事務局

No.	職 名	氏 名
1	桜川市市長公室長	田口 瑞男
2	桜川市市長公室企画課 課長	坪井 昭
3	課長補佐	仁平 富子
4	係長	山川 拓也
5	主任	渡辺 創
6	主事	青木 萌
7	主事	浦井 葉留香
8	桜川市建設部建設課 課長補佐	内桶 裕教
9	主任	米川 貴紀

【7】会議の経過

- 1 開 会：午後2時00分
- 2 委員委嘱：代表者へ交付 藤川 昌樹 委員
- 3 市長あいさつ
- 4 上曾トンネルについて
- 5 設置要綱について
- 6 委員長及び副委員長の選出について
委員長：藤川 昌樹 委員
副委員長：常盤 恵一 委員
- 7 議 事

・会議の公開について、発言者の名前を伏せて市ホームページ上に公開することになった。

- (1) 基本構想及び基本計画について
- (2) 基本構想策定スケジュール（案）について

・時間的に急ぎ足のような感じがして、1回か2回のワークショップでトンネルの効果や将来像について話をしてもまとまるとは思えないのと、それをパブリックコメントに出したとして、形式的になってしまうのではないかと。形式的なものだとつまらない。せっかくであれば実のあるものにしてきたいと思っているので、ワークショップ回数ももう少し増やして、若い人を取り入れていければ。

- ・事業者にとっては観光や人の流れは非常に大切なこと。時間をかけるのであればこのまちなためになる構想を考えていきたい。
- ・上曾トンネルが開通すれば、東西の太いパイプが新たにできるわけで環境は大きく変わることが想定される。変化にはいい面も悪い面もあると思うが、トンネルをいい様に使えればと考えている。市民の意見を聞きながら、地域の将来像をまとめていければ。
- ・トンネルが令和7年度に開通するということを考えると、急ぎ足になってしまうのも否めない。時間がない中でも形式的にならないようワークショップを進める必要がある。
- ・上曾トンネルが開通すれば岩瀬東部の方は恩恵を受けるだろう。市内の循環という意味でも考えていければ。

(3) ワークショップ(案)について

- ・メンバーについて、地域おこし協力隊の方と町並み案内ボランティアの代表の方を推薦する。また中高生も入れたほうがいいのか。
- ・若い人の意見を積極的に取り入れていきたい。将来のことを考えるのであればなおさらそう思う。
- ・こういう会議になるとつい平均年齢が上がってしまう。だからこそワークショップで若い人の意見を入れたいというのはこの場の共通の認識だと思う。
- ・桜川市に出入りし、真壁を研究材料にしている大学生は結構いて、そういった桜川市外の方もメンバーとして推薦出来たらと思う。

(4) 検討エリアの設定について

(5) 検討イメージについて

- ・トンネルが開通すれば今の道路の利用者は減って、不法投棄が増える可能性がある。旧道を上手く活用する方法をこの場で考えていきたい。旧道から真壁地区に降りていくときの眺望がよくサイクリストも多い。そういった資源も多くあるのでぜひ活用を考えていきたい。
- ・真壁伝承館ができる際の委員会でも話したが、道路に愛称があればよい。道路に愛称があることで地域の魅力が高まると思う。
- ・県道7号線と県道41号線、上曾トンネル開通後の交通量の変化予想、また、似たようなケースの比較対象があれば検討しやすいと思う。
- ・上曾トンネル開通後の道路の管理について、道路の管理には多くの経費がかかり、今後エリアを検討するにあたっての判断材料になる。
- ・交通量のデータがあればエリア設定に役立つと思う。
- ・朝日トンネル等の先行事例も参考にするとよい。
- ・文化庁との協議が必要。基本構想についてはある程度柔軟に意見を出し合ってもらい、基本計画の段階で真壁城跡整備検討委員会や各種団体と調整することになると思う。

- ・市民参画で考えた基本構想の中で、地域全体を考えたときに、掘削土造成地にこんな機能をもたせたいなどいろんなご意見をいただき、その中での最適解を模索できれば。
- ・御城印が伝承館までいかないともらえない。この場所に真壁城跡と真壁の町並みの連携がとれるような施設があればよい。
- ・旧道や現在のトンネルに続く道路を上から降りてくると棚田が広がっていた。また今でも真壁城跡や真壁の町並みが一望できる。そういった原風景は大切な資源であり強みになると思う。原風景も少しずつ再生できれば。

8 その他

意見なし

9 閉 会 15:22 閉会